

平成30年度事業報告書「第39期」
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

令和元年5月24日
社会福祉法人 倂愛会

事業の概要

平成30年度は町田ときわ保育園発足以来38年目となった。

児童の入所については年度末に総定員110名の所103名の受入れとなった。今年度は昨年度に比べ月平均が7名程度減少しており、定員割れが恒常的となっている。数年前の受け入れ人数が130名前後であったことを考えると、平均30名の児童減少は今後の保育園運営に危険信号が灯っているといえる。忠生地区での待機児童は完全に解消し、今後児童数の増加は見込めない。今後は継続的な定員割れ対策が必要であり、定員変更を含む施設の建て替えや、認定子ども園への移行等、選ばれるための方策を考えなくてはならない。

全国的な保育士不測の影響もあり、恒常的な保育士不足となっている。積極的な採用活動を行い途中採用も行ったが定着に至らず、悪循環が続いている。保育支援ソフト「はぐくむ保育」を導入したものの、保育士が導入のための十分な時間をとる事が出来ず、4月よりの実施はできなかった。労働基準監督署より、残業時間の多さを指摘されており、働き方改革の方針もあるので、働きやすい労働環境について取り組みを行う。

施設の修繕については当初園舎南側の外壁塗装を行う予定のみであったが、夏の猛暑に伴い、保護者より町田市役所へ3・4・5歳児保育室への冷房装置導入の要望があり、中期計画を前倒しして導入することとなった。更に、大阪地区を襲った地震によって倒壊したブロック塀による死亡事故をうけた緊急点検により、保育園敷地内の万年塀も改修の必要があると判断された。幸い町田市より補助事業として承認されたので、3月末までに完成する事が出来た。

地域交流事業については、平成26年度より開始した町田市の

「マイ保育園事業」を含めた子育てひろば事業(Ⅱ型)を実施した。「マイ保育園事業」が園庭・室内開放の「なかよしクラブ」と、出前保育の「おでかけクラブ」、自立的サークル支援事業の「なかよしキラキラクラブ」を展開する上での呼び水として定着した。世代間交流は6回開催し述べ60名の参加があった。一方、独自事業として行っている、地域貢献事業の小中高生の育児体験やお出かけクラブ、老人交流などは補助のないまま事業を実施している。今後、地域貢献の業務として認められれば継続できるが、今のところ見通しが立っていない。

一時預かり事業は今年度より東京都型一時保育事業として実施した規模を縮小した結果3月末に登録者91名、年累計で62名の利用があった。

当園の保育をめぐる状況は忠生地区の待機児解消と保育士不足により、業務の縮小傾向が顕在化して経営の不安定化を招いている。現在は国が待機児童対策を実施し単価は増加しているが、今後の収入の推移は不明である。日々各種団体研修に参加し情報収集を図り、今後の法人運営の最善の方法を決断する努力を行っている。

1 児童の処遇

1) 健康管理

0歳児の毎月1回の健康診断の実施。

年間2回の1歳～5歳児の健康診断の実施。

看護師による巡回指導。

歯科検診年間1回の実施。

町田市健康課職員による歯の健康指導を、4～5歳児中心に実施。

各クラスでの指導と今週のお約束による保護者への働きかけ。

多摩境くまこどもクリニック島村医師を園医に依頼して健診を行う。

2) 栄養管理

「給食・食育年間計画」を策定し、食についての年間を通しての取り組みを実施した。

毎月当初に発行する乳児用幼児用2種の献立表によるもの、手作りおやつや「お楽しみ献立」の実施。

又、アレルギー体質児等に対する特別献立、栄養士と調理職員による各クラスの巡回、乳・幼児給食会議による保育者との連携、試食会による保護者との話し合い等を実施した。

3) 保育

保育過程、年間クラス運営計画、年間保育計画、月間保育計画、週案、デーリープログラム、課題別指導案、行事計画書、園外保育計画書並びに各計画書の反省書、課題別指導に対するデーター、集計と分析により翌月のカリキュラムへの反映、個人別連絡帳、保育日誌、児童表の記載、クラスだより、その他の連絡等により、子ども一人一人の特性と個人差に合わせ保育を展開した。

4) 安全管理

安全衛生委員会による日々チェック、4S、毎月1回の避難及び消火訓練・防犯訓練、交通安全指導を実施した。

2 職員の処遇

1) 健康管理

毎年1回の健康診断、40歳以上の成人病予防健診の実施。

2) 労務管理

所定労働時間、38時間。

3) 待遇

町田市法人立保育園協会給料表による本俸、町田市の諸手当、当法人給与規定による諸手当、期末手当、その他。就業規則変更。平成29年3月に処遇改善に伴う届出。

4) 研修・講習

市協会、東社協、民保協、都、その他への参加。

5) 職員会

毎週火曜日の朝礼、各委員会、毎月1回の乳・幼児別給食会議、毎月末の職員会議とカリキュラム会議、障がい児関係打ち合わせ会等の実施。グループ会議 0,1,2歳と 3,4,5歳。

6) 福利厚生

町田市勤労者福祉サービスセンター(互助会)に加入。
親睦会。(忘年会等)

3 保護者会

1) 総会

年1回4月開催。その他必要とされる都度、役員会の開催。

2) 保育参観、保育参加

年間2回実施。

3) クラス懇談会

年間1～2回実施。

4) 個人面談

年間1回、その他必要とされる都度実施。

4 事業管理

1) 経理

町田ときわ保育園経理規定により実施。

2) 園だより等

毎月1回その他必要に応じ発行。クラスだより、保健だより、行事連絡、園外保育だより、給食献立その他必要に応じて連絡、伝達を行う。

保護者用ホームページにて行事などでの子どもの様子を配信する。又、メール配信で緊急の情報を配信する。

3) 地域交流事業

未就園児童については、サークル支援活動の「なかよしキラキラクラブ」を4回実施し大人平均約13人、子ども平均15人の参加があった。

「なかよしクラブ」は毎週月曜日に行い、これとは別に園庭開放を毎週木・金曜日に実施した。また出前保育を6回実施し、この中で地域民生委員と協力し小山田桜台団地集会所でなかよしおでかけクラブを実施した。

老人交流は年6回開催し延べ60名の参加があった。

5 備品、備品関係

園舎南側外壁塗装。各クラス入口引き戸改修、0歳児クラス棚改修。各クラス入口他の引き戸改修。2・3・4・5歳空調導入。塀の改修。経理用パソコン。電子ピアノの買い替え。午睡チェックセンサーの導入。

6 会計

- 1) 毎年度末にて作成し、事業全体及び会計経理の監事による監査を受け、理事会報告と登記を行う。

以上